SONY

4-113-124-**01**(1)

IC レコーダー

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取扱説明書

ICD-AX70

IC RECORDER

 Printed in Thailand

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

準備

録音する

さまざまな録音

再生する／消去する

編集する

機能を活用する ー メニュー

困ったときは

その他

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらイヤーレシーバーなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤーレシーバーで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

- 本製品の不具合により、録音ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合、録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、IC レコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、カセットテープなどに保存してください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド(Ni-Cd)
ニッケル水素(Ni-MH)
リチウムイオン(Li-ion)

乾電池
アルカリ、マンガン

ボタン型電池
リチウムなど

⚠危険 充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて+と−を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

⚠警告 乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

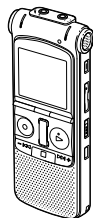
⚠注意 乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

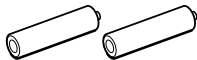
お願い

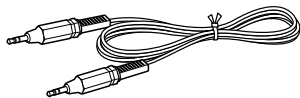
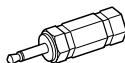
使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

箱の中身を確認しよう

本体(1)

表示窓に貼られている
フィルムを剥がして
お使いください。

エレクトレットコンデンサー
マイクロホン
(単一指向性ダイレクトインマイク)(1)

ソニー単4形アルカリ乾電池(2)

ステレオイヤーレシーバー(1)

オーディオコード(ステレオ・抵抗入り)
(1)

変換プラグ(ステレオーモノラル)(1)

キャリングケース(1)

取扱説明書(1)

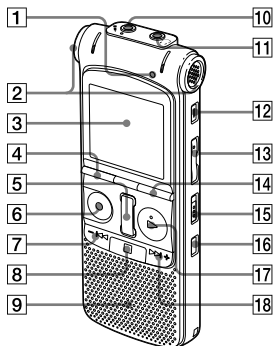
保証書(1)

簡単ダビングガイド(1)

ソニーご相談窓口のご案内(1)

この取扱説明書で説明している以外の
変更や改造を行った場合、本機を使用で
きなくなることがありますので、ご注意
ください。

各部のなまえ

本体(表面)

1 アクセスランプ(18、23、38、44、51ページ)

2 内蔵マイク(ステレオ)(22、26、27ページ)

3 表示窓(12ページ)

4 分割ボタン(39ページ)

5 DPC速／遅ボタン(29、32ページ)

6 ● 録音／一時停止ボタン(録音ランプ)(18、22、23、25ページ)

7 −⏮ (早戻し)ボタン(18、19、22、23、25、29、30、31、37、39、40、42、44ページ)

8 ■ (停止)ボタン(18、20、22、23、29、31、32、34、35、36、39、41、42ページ)

9 スピーカー (17、30ページ)

10 🎤 (マイク)ジャック(26、27ページ)

11 🎧 (ヘッドホン)ジャック*(22、24、29、30、35ページ)

12 消去ボタン(36ページ)

13 音量+/−ボタン(22、24、29ページ)

14 表示／メニューボタン(18、19、20、23、29、33、36、37、42ページ)

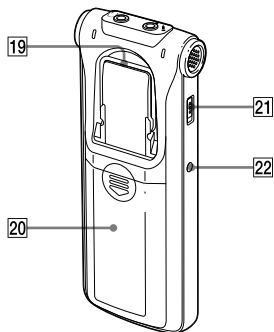
15 DPC (速度調整)入／切スイッチ(29、32ページ)

16 ⊊ (リピート) A-Bボタン(29、32ページ)

17 ► 再生/停止・決定ボタン(再生ランプ)(18、19、20、22、23、25、29、31、32、33、34、37、41、42ページ)

18 ►►I+(早送り)ボタン(18、19、22、25、29、30、31、37、39、41、42、44ページ)

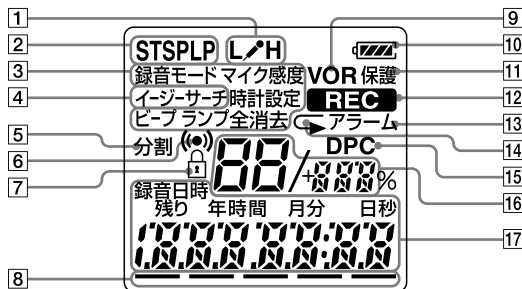
* 付属のステレオイヤーレシーバーを ∩ (ヘッドホン)ジャックに差し込みます。雑音が入るときはイヤーレシーバーのプラグをきれいに拭いてください。

本体(裏面)

19 スタンド
テーブルなどに置いて録音する場合には本機を立てて使うことができます。

20 電池ぶた(15ページ)

21 ホールドスイッチ
(21、22、23、29、30、34ページ)

22 DC IN 3Vジャック
(51ページ)

表示窓

1 マイク感度表示
　録音時のマイクの感度が表示されます。
　H：会議録音モード
　L：口述録音モード

2 録音モード表示
　停止中または録音中はメニューで設定されている録音モードが、再生中はその用件の録音モードが表示されます。
　ST：ステレオ高音質モード
　STSP：ステレオ標準モード
　STLP：ステレオ長時間モード
　SP：モノラル標準モード
　LP：モノラル長時間モード

3 メニュー設定表示
　メニューでそれぞれの設定をしているときに表示されます。

4 イージーサーチ表示
　メニューで「イージーサーチ」が「ON」に設定されている場合に表示されます。

5 分割表示
　用件を分割しているときに点滅します。

6 アラーム表示
用件のアラーム設定が「ON」になっている場合に表示されます。アラーム再生中は表示が点滅します。
ただし、時計が設定されていない場合は表示されません。

7 保護マーク表示
用件の保護設定が「ON」になっている場合に表示され、用件分割、消去ができなくなります。
分割、1件消去しようとすると点滅します。
全用件を一度に消去しようとする場合は点滅しませんが、保護設定が「ON」になっている用件は消去されません。

8 メモリー残量表示
メモリーの残量を５段階で表示します。残量が減ると、ひとつずつ消えていきます。メモリー残量が20%を切るか、録音中に残り時間が10分を切るとメモリー残量表示が点滅します。不要な用件を消去してください。

9 VOR表示
メニューで 「VOR」を「ON」にしてVOR録音をしているときに点灯し、VOR録音一時停止中に点滅します。

10 電池残量表示
乾電池使用時は電池残量が表示されます。

11 保護表示
メニューで「保護」が「ON」に設定されているときに表示されます。

12 REC（録音）表示
録音中、VOR録音中、録音一時停止中に点灯します。

13 アラーム表示
メニューで「アラーム」を設定しているときに表示されます。

14 リピート表示
１件リピート再生中やA-Bリピート再生中に表示されます。

15 DPC表示
DPC（速度調整）入／切スイッチを「入」にすると表示されます。
DPC速／遅ボタンを上下に動かして速度を調整すると、DPC表示の下に設定した数値が%で表示されます。

16 位置情報表示
選んだ用件番号が分子に総用件数が分母に表示されます。
再生可能な用件がない場合は、「00/00」と表示されます。

⑰ 経過時間、残り時間、録音日付、録音時刻表示

経過時間表示：停止中/再生中にその用件の頭からの経過時間を表示します。録音中は録音開始からの録音時間を表示します。

残り時間表示：「残り」が表示され、再生中は再生残り時間表示、録音中は録音可能残り時間表示となります。

録音日付表示：「録音日時」が表示され、録音した日付を表示します。

録音時刻表示：「録音日時」が表示され、録音した時刻を表示します。

キュー /レビュー中はどの場合も一時的に経過時間表示に切り換わります。
時計が設定されていない場合は、
「-- -- --」が表示されます。
録音中に録音可能時間が1分未満になると、強制的に「残り時間」表示に切り換わり、表示が点滅します。

準備1: 電池を準備する

表示窓に貼られているフィルムを剥がしてお使いください。

使用できる電池

使用できる電池は、以下の乾電池になります。

- 単4形アルカリ乾電池2本(付属)

ご注意
乾電池は電池のメーカーや種類によって性能のばらつきがあり、使用時間の目安に対して特に低温下では短くなる場合があります。

使用できない電池

- マンガン電池

使用できる充電池

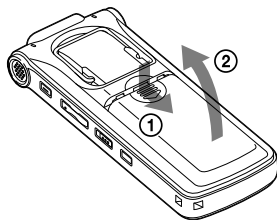
使用できる充電池は、以下の充電池になります。

- 充電式ニッケル水素電池単4形(別売):NH-AAA-4BF

充電器は、以下の製品をご利用ください。

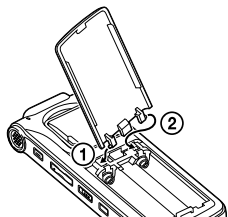
- ニッケル水素電池専用急速充電器(別売):BCG-34HRES

準備2: 電池を入れる

1 電池ぶたを矢印の方向へずらして開ける。

2 単4形アルカリ乾電池(付属)を2本入れ、ふたを閉める。

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかった後に電池を入れたときには、時計設定画面が表示されます。「準備3: 時計を合わせる」（18ページ）の手順に沿って時計を合わせてください。

ヒント

電池を交換する際、電池をとりはずしても録音した用件やアラーム設定は消えません。

電池ぶたは落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。そのときは上の図のようにはめ直してください。

ご注意

乾電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。

電池を交換する時期

電池の残量がなくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。

電池の残量表示

：電池の交換時期が近づいています。

↓

：「LO BATT」が表示され、操作ができなくなります。

ご注意

別売のACパワーアダプター AC-E30L使用時は、電池残量表示は表示されません。

電池の持続時間

乾電池の持続時間[1]（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG)を連続使用時）

	ST モード[2]	STSP モード[3]	STLP モード[4]
録音時[7]	約40時間	約40時間	約50時間
スピーカー再生時[8]	約15時間	約15時間	約15時間
ヘッドホン再生時	約40時間	約40時間	約40時間

	SP モード[5]	LP モード[6]
録音時[7]	約50時間	約65時間
スピーカー再生時[8]	約15時間	約15時間
ヘッドホン再生時	約40時間	約40時間

充電式電池の持続時間[1]（ソニー充電式ニッケル水素電池 NH-AAA を連続使用時）

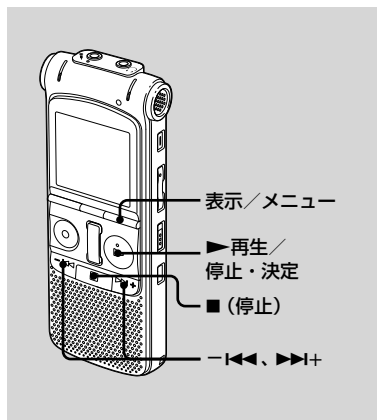
	ST モード[2]	STSP モード[3]	STLP モード[4]
録音時[7]	約32時間	約32時間	約40時間
スピーカー再生時[8]	約13時間	約13時間	約13時間
ヘッドホン再生時	約32時間	約32時間	約32時間

	SP モード[5]	LP モード[6]
録音時[7]	約40時間	約50時間
スピーカー再生時[8]	約13時間	約13時間
ヘッドホン再生時	約32時間	約32時間

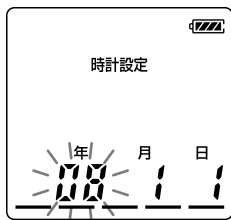
*1 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。(各電池の持続時間は、DPC（速度調整)入／切スイッチは「切」に、メニューで「ランプ」は「ON」に設定されている場合）
*2 STモード：ステレオ高音質モード
*3 STSPモード：ステレオ標準モード
*4 STLPモード：ステレオ長時間モード
*5 SPモード：モノラル標準モード
*6 LPモード：モノラル長時間モード
*7 録音モニターなしの場合。
*8 音量レベルを27に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

アクセス中のご注意

画面上に「ACCESS」と表示されている間や、本体上部のアクセスランプがオレンジで点滅または● 録音／一時停止ボタン（録音ランプ）が赤で点灯している間は、メモリーへアクセス中です。アクセス中は、電池をはずしたり、ACアダプターを抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

準備3: 時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、本機の時計を合わせておく必要があります。
お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、年表示が点滅します。

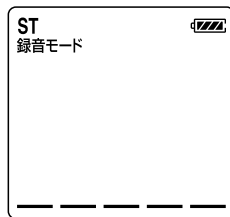
準備2に続けて時計を合わせる

1 −⏮または⏭+ボタンを押して「年」の数字を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して決定する。

2 同じように、−⏮または⏭+ボタンと►再生／停止・決定ボタンを使って、月、日、時、分の順で数字を選び、決定する。

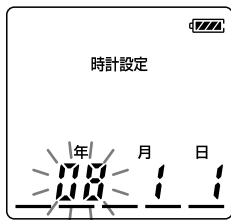
メニューを使って時計を合わせる

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

1 停止中に表示／メニューボタンを長押ししてメニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 −⏮または⏭+ボタンを押して「時計設定」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して決定する。

「時計設定」が表示され、年表示が点滅します。

3 －⏮またはⅠ⏭＋ボタンを押して「年」の数字を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押して決定する。

4 同じように、－⏮または⏭＋ボタンと▶再生／停止・決定ボタンを使って、月、日、時、分の順で数字を選び、決定する。

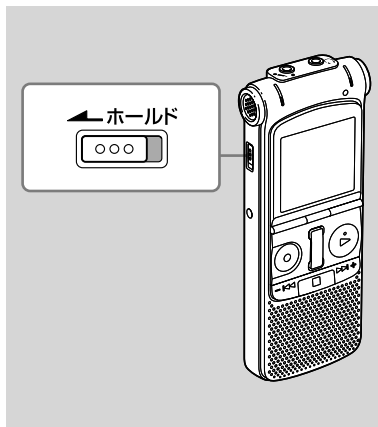
5 ■（停止）ボタンを押して通常画面に戻す。

ヒント

- 表示／メニューボタンを押すと、1つ前の操作に戻ることができます。
- 時間表示は24時間表示方式です。
- 時計設定後約3秒たつと、現在時刻表示になります。
- 時計設定後約10分たつと、表示窓は消灯します。

ご注意

それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされ、通常の表示に戻ります。

電源を入／切する

電池を入れると表示窓に表示が出て電源が入ったことがわかります。
本機をお使いにならないときは、電源を切ることで電池の消耗を抑えることができます。

電源を切るには

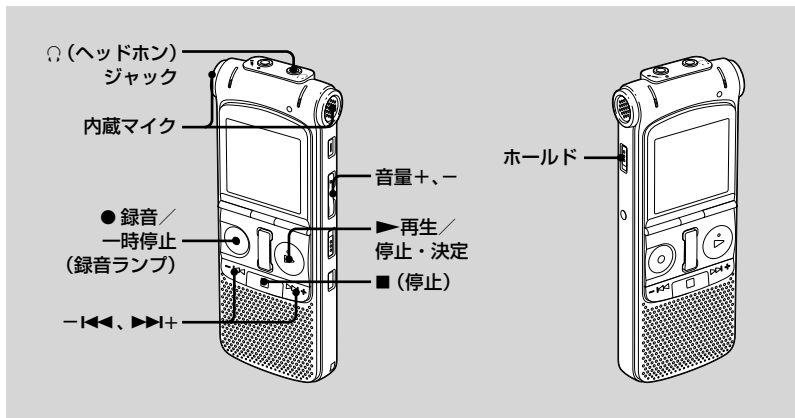
停止中にホールドスイッチを矢印の方向にずらすと、しばらくたってから電源が切れます。

電源を入れるには

ホールドスイッチを矢印と逆の方向にずらすと電源が入ります。

ヒント

- 長時間ご使用にならない場合は、電源を切っておくことをおすすめします。
- 電源を入れて停止状態のまま10分経過すると自動的に表示が消えます。（ボタンを押せば、操作できます。）

用件を録音する

1 録音を始める。

①停止中に● 録音／一時停止ボタンを押す。

録音ランプが赤く点灯し、「REC」が表示されます。(メニュー「ランプ」を「OFF」に設定しているときは録音ランプは消灯します(45ページ)。)

● 録音／一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

新しい用件は自動的に一番最後に録音されます。

②内蔵マイクに向かって話す。

2 録音を止めるには■(停止)ボタンを押す。

今録音した用件のはじめで停止します。

ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。
- 口述録音時、会議録音時など、状況に応じて、メニューで「マイク感度」の設定を「H」か、「L」に設定してください。詳しくは44ページをご覧ください。
- 録音中にホールドスイッチを矢印の方向にずらすと、すべてのボタン操作ができなくなり、誤操作を防止します。
- 本機で録音される用件はMP3ファイルで録音されます。

ご注意

- 録音ランプが赤く点灯・点滅中、またはアクセスランプがオレンジに点灯・点滅中は電池をはずしたり、ACパワーアダプターを抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- 録音中、本機に手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。
- 録音を始める前に必ず電池残量表示（16ページ）を確認してください。
- 録音を始める前にメモリー残量表示が点滅していないか確認してください。点滅している場合は、不要な用件を消去してから録音してください。
- 表示／メニューボタンを押して、録音可能時間の確認をしてください。
- 長時間録音途中の電池交換を避けたいときは、別売のACパワーアダプター AC-E30Lをお使いください（51ページ）。
- 録音モードを混在して録音した場合、最大録音時間は任意に変化します。

その他の操作

録音を一時停止する*	● 録音／一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中は録音ランプが赤く点滅し、「PAUSE」表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していた用件に続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■（停止）ボタンを押します。）
今録音したばかりの用件を聞く	► 再生／停止・決定ボタンを押す。 録音が解除され今録音した用件のはじめから聞くことができます。
早戻し（レビュー）再生する	録音中または録音一時停止中に －⏮ ボタンを長押しする。 録音が解除され、今録音したところが早戻し（レビュー）再生されます。 －⏮ ボタンを離すと、離したところから再生が始まります。

* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

録音モードを選ぶ

メニュー「録音モード」で、用途に応じた録音モードに設定します。

ST： ステレオ高音質モード（44.1 kHz/192 kbps）
ステレオ音声で高音質な録音ができます。

STSP： ステレオ標準モード（44.1 kHz/128 kbps）
ステレオ音声で録音ができます。

STLP： ステレオ長時間モード（22.05 kHz/48 kbps）
ステレオ音声で長時間の録音ができます。

SP： モノラル標準モード（44.1 kHz/48 kbps）

LP： モノラル長時間モード（11.025 kHz/8 kbps）
音質を重視しない簡易な録音、メモ録音はLP モードで長時間お使いになれます。

より良い音質で録音したいときは、STモードまたはSTSPモードをお使いください。

ご注意

録音中は「録音モード」の切り換えはできません。

録音中の音をモニターするには

イヤーレシーバーを 🎧（ヘッドホン）ジャックにつないで、モニターします。イヤーレシーバーからの音量（モニター音量）は、音量＋または－ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

録音可能時間について

最大録音時間は、表のとおりです。

STモード	STSPモード	STLPモード
11時間55分	17時間55分	48時間

SPモード	LPモード
48時間	288時間10分

音がしたとき自動録音する — VOR録音

1 メニュー画面の「VOR」で－I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「ON」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して決定する。

2 ●録音／一時停止ボタンを押す。

REC と「VOR」が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、「VOR」と「PAUSE」が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

VOR録音を解除するには

メニューで「VOR」を「OFF」にします。

ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「OFF」に設定してください。
- ● 録音／一時停止ボタンを押して録音を一時停止すると「PAUSE」だけが点滅します。解除するには、もう一度● 録音／一時停止ボタンを押してください。

外部マイクをつないで録音する

1 停止中に付属の外部マイクを (マイク)ジャックにつなぐ。

2 外部マイクを使って録音を始める。

内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。

入力レベルが適正ではない場合は、本機のマイク感度の設定を変更してください。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

ヒント

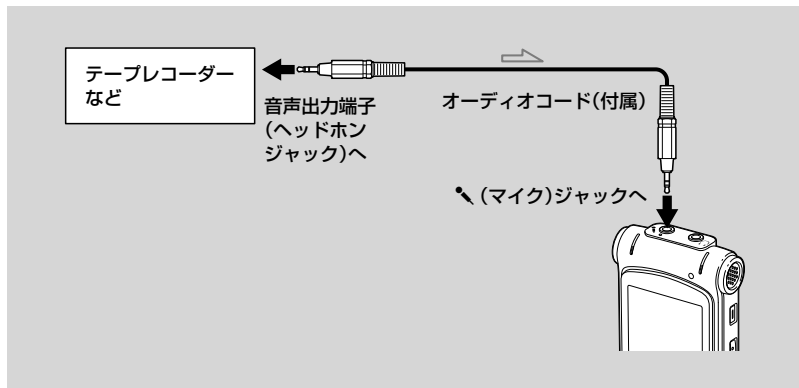
- 録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音をしてください。
- 口述録音時、会議録音時など、状況に応じて、メニューで「マイク感度」の設定を「**H**」か、「**L**」に設定してください。詳しくは44ページをご覧ください。

お使いになれるマイク

ソニー製エレクトレットコンデンサーマイクロホン(ステレオマイク) ECM-CS10、ECM-DS70P (別売)などをお使いいただけます。

ご注意

付属のマイクはモノラルですが、モノラルからステレオに変換する回路を内蔵していますので、両方のチャンネルに音が録音されます。別売の外部マイクがモノラルの場合、「録音モード」が「STLP」、「STSP」または「ST」に設定されていると、片方のチャンネルにしか音が録音されません。その場合は、「録音モード」を「SP」または「LP」に設定するか、モノラルからステレオに変換する変換プラグ(別売)をお使いください。

他の機器の音声を録音する

1 停止中に他の機器を本機につなぐ。

他の機器の音声出力端子(ヘッドホンジャック)を付属のオーディオコードを使って、本機の (マイク)ジャックにつなぎます。

2 録音を始める。

内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声を録音します。

ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。
- ひとつの操作をしてから次の操作をする間が10分以上あくと、表示窓の表示は消えますが、録音中だったらそのまま録音は続けられます。
- 他の機器がモノラルの場合、付属の変換プラグを他の機器のヘッドホンジャック側につけると、「録音モード」が「STLP」、「STSP」または「ST」に設定されていても、両方のチャンネルが録音できます。
- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器の音声出力端子(ヘッドホンジャック)を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。

ご注意

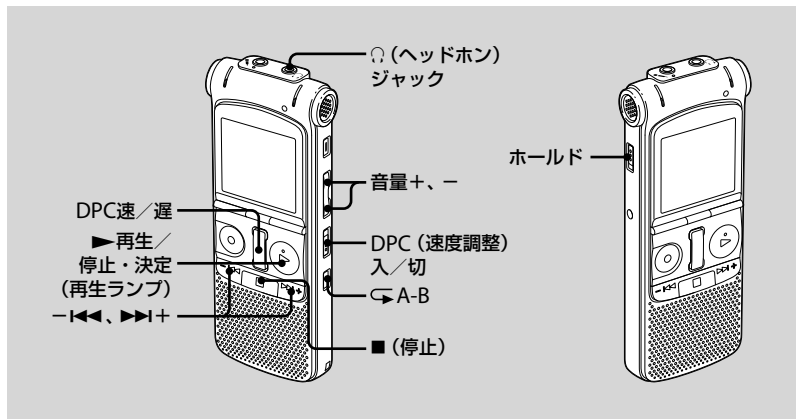
他の機器の出力がモノラルの場合、「録音モード」が「STLP」、「STSP」または「ST」に設定されていると、片方のチャンネルにしか音が録音されません。その場合は、「録音モード」を「SP」または「LP」に設定するか、モノラルからステレオに変換する変換プラグ(別売)をお使いください。

電話機や携帯電話の音声を録音するには

別売の電話録音用マイク、ECM-TL1を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。
接続方法などについて詳しくは、
ECM-TL1の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 録音する場合には、本機と接続後、通話状態と録音レベルをご確認の上ご使用ください。
- 呼び出し音、発信音を録音した場合、会話が小さい音で録音されることがあります。そのような場合には、通話状態になってから本機を録音状態にしてください。
- 接続する電話機の種類、回線の状況によってVOR機能が働かないことがあります。
- 本機を使って通話録音をした場合、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

再生する

1 **－I◄◄または►►I＋ボタンを押して、聞きたい用件を選ぶ。**

2 **►再生／停止・決定ボタンを押して、再生を始める。**

再生ランプが緑に点灯します。（メニュー「ランプ」を「OFF」に設定しているときは消灯します（45ページ）。）

3 **音量＋または－ボタンを押して音量を調節する。**

4 **再生を止めるには■（停止）ボタンを押す。**

フォルダ内の最後の用件の再生が終わると、その用件のはじめに戻って停止します。

💡ヒント
再生中にホールドスイッチを矢印の方向にずらすと、すべてのボタン操作ができなくなり、誤操作を防止します。

高音質で再生するには

- イヤーレシーバーで聞く：
  付属のステレオイヤーレシーバーを🎧（ヘッドホン）ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
  別売のアクティブスピーカーを🎧（ヘッドホン）ジャックにつないでください。

聞きたいところをすばやく探すには－イージーサーチ機能

メニューの中で「イージーサーチ」を「ON」に設定しておくと、再生中に▶▶I＋または－I◀◀ボタンを何度か押して聞きたいところまで早送り、早戻しをして聞くことができます（44ページ）。「イージーサーチ」が表示されます。
－I◀◀ボタンを1回押すごとに約3秒前、▶▶I＋ボタンを1回押すごとに約10秒先を再生します。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

再生中に早送り／早戻しするには（キュー／レビュー）

- 早送り（キュー）：再生中に▶▶I＋ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：再生中に－I◀◀ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。しばらくそのままにすると、高速での早送り／早戻しになります。

ヒント

用件が切り換わるところで－⏮ または ⏭＋ボタンを押し続けると、早送り／早戻しを一時停止して、ゆっくりした速度からふたたび早送り／早戻しします。

最後の用件の終わりまで再生または早送り（キュー）すると

- 最後の用件の終わりまで来ると、「END」表示が5秒点滅します。
  点滅中は再生ランプは緑に点灯しています（再生音は聞こえません）。
- 「END」と再生ランプが消えると、最後の用件の頭に戻って止まります。
- 「END」の点滅中に－⏮ ボタンを押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
- 最後の用件が長時間の用件の場合で、用件中の後ろの方を探して再生したい場合は、⏭＋ボタンを押し続けていったん用件の最後まで早送りして、「END」表示の点滅中に－⏮ ボタンを押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後の用件以外の場合は、次の用件の頭に送ってから再生中に早戻しすると素早く探せます。

その他の操作

再生の途中、その位置で停止する	■（停止）ボタンまたは►再生／停止・決定ボタンを押す。 もう一度►再生／停止・決定ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
今聞いている用件の頭に戻る	－⏮ ボタンを短く1回押す。*
前の用件、さらに前の用件に戻る	－⏮ ボタンを短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して戻ります。）
次の用件に進む	⏭＋ボタンを短く1回押す。*
さらに次の用件に進む	⏭＋ボタンを短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して進みます。）

* メニュー「イージーサーチ」が「OFF」に設定されている場合の操作です（44ページ）。

1件リピート再生

再生中に►再生／停止・決定ボタンを長押しします。
「⮌」が表示されます。
通常再生に戻るには、►再生／停止・決定ボタンを押します。

再生速度を調整する — DPC（デジタル・ピッチ・コントロール）機能

DPC（速度調整）入／切スイッチを「入」にすると、DPC速ボタンを押して再生速度を速く、遅ボタンを押して再生速度を遅く調整できます。

1 再生中、停止中にDPC（速度調整）入／切スイッチを「入」にする。

2 DPC速または遅ボタンを押して再生速度を調整する。

「DPC」と速度調整値（例：－30%）が表示されます。

通常の再生速度に戻すには

DPC（速度調整）入／切スイッチを「切」にします。

ご注意
DPC（速度調整）入／切スイッチが「切」になっていると、DPC速または遅ボタンを押しても「DPC OFF」が点滅して調整することができません。DPC（速度調整）入／切スイッチを「入」にしてください。

必要な部分だけを再生する — A-Bリピート

1 再生中にA-Bボタンを押して、A点を指定する。

「A-B B」が点滅します。

2 もう一度A-Bボタンを押して、B点を指定する。

「」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。

A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには

►再生／停止・決定ボタンを押します。

A-Bリピート再生を停止するには

■（停止）ボタンを押します。

A-Bリピートの範囲を変えるには

A-Bリピート再生中にもう一度A-Bボタンを短く押すと、手順1に戻り、新しいA点が設定されます。手順2に従ってB点を指定します。

希望の時刻に再生を始める ― アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに用件を再生できます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。

1 アラーム再生したい用件を表示させる。

2 アラーム設定をする。

①停止中に表示／メニューボタンを長押ししてメニューモードに入る。
②メニュー画面で－⏮または⏭＋ボタンを押して「アラーム」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して決定する。
③－⏮または⏭＋ボタンを押して「ON」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して決定する。
「アラーム」が表示され「ON」が点滅します。
（すでにその用件がアラーム設定されていると「アラームON」が表示されます。）

ご注意

時刻設定をしていない場合や、用件が録音されていない場合はアラーム設定はできません。

3 アラーム再生したい日時、時刻を設定する。

①－⏮または⏭＋ボタンを押して、「DATE」、「SUN」や「MON」など設定したい曜日、または「DAILY」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して決定する。
②**「DATE」を選んだ場合**：
「時計を合わせる」（18ページ）に従って年月日、時刻を設定します。
曜日や「DAILY」を選んだ場合：
－⏮または⏭＋ボタンを押して「時」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して設定し、同じように－⏮または⏭＋ボタンを押して「分」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して設定します。

4 アラームパターンを設定する。

①－⏮または⏭＋ボタンで「B-PLAY」(アラーム音のあと、再生)または「B-ONLY」(アラーム音のみ鳴る)を選ぶ。

②►再生／停止・決定ボタンを押して決定する。

メニューを終了すると「(•)」が表示されて、選んだ用件にアラームが設定されます。

設定した時刻になると

約10秒間アラーム音が鳴り「アラーム」が点滅して、選んだ用件の再生が始まります。再生が終わると、自動的に停止します(アラーム再生した用件の頭に戻ります)。

アラーム再生された用件をもう一度聞くには

►再生／停止・決定ボタンを押すと、その用件のはじめから再生されます。

用件が再生される前に止めるには

アラーム音が鳴っている間に■(停止)ボタンを押します。ホールドスイッチが入っていても止められます。

設定内容を変更するには

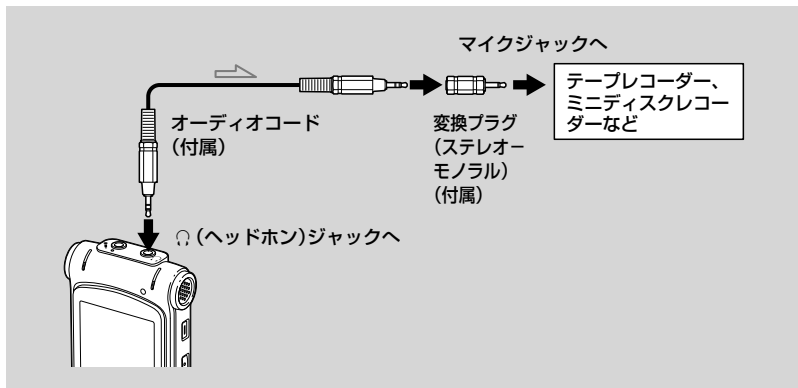
手順2から設定をやりなおします。

アラーム設定を解除するには

手順2-③で－⏮または⏭＋ボタンを押して「OFF」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して決定するとアラームは解除されます。表示窓のアラーム表示が消えます。

ご注意

- アラームは、1用件に1件のアラームが設定できます。
- 時計を合わせていない場合や、用件が録音されていない場合は、アラーム設定はできません。
- メニューで「ビープ」を「OFF」に設定していてもアラームが鳴ります。
- 録音中にアラーム設定した時刻になった場合は、「(•)」表示のみが点滅し、録音を終了したときにアラームが鳴り始めます。
- アラーム設定した用件を消去すると、用件に設定されたアラームも一緒に解除されます。

本機の音声を他の機器で録音する

1 付属のオーディオコードを使って、本機の ∩（ヘッドホン）ジャックと他の機器のマイクジャックをつなぐ。

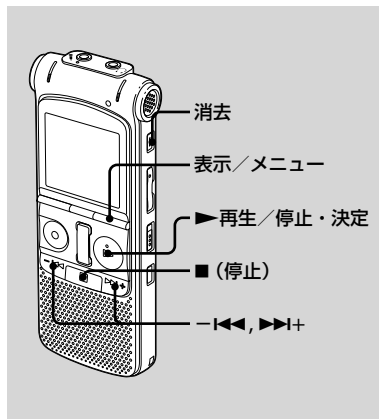
ご注意

モノラルのレコーダーを使う場合は、付属の変換プラグをレコーダー側に差し込んでください。

2 本機の►再生／停止・決定を押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。

本機の用件が他の機器に録音されます。

3 録音を止めるには、本機の■（停止）ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

消去する

録音した用件を1件ずつ、または全用件を一度に消去できます。

ご注意

- 一度消去した用件はもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- メニューで「保護」設定がされている用件は消去できません。
- 消去したい場合は、「保護」設定を「OFF（解除）」してください。

1件ずつ消去する

停止中または再生中に消したい用件だけを消去できます。
用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

1 消去したい用件を再生する。

2 再生中に消去ボタンを押す、または停止中に消去ボタンを長押しする。

「消去」表示と消去したい用件番号が点滅し、その用件が1分間再生されます。

3 用件が再生されている間にもう一度消去ボタンを押す。

「消去」表示と用件番号に加えて「ACCESS」表示が点滅して、用件が1件消去されます。

途中で消去をやめるには

手順3の前に■（停止）ボタンを押します。

他の用件を消去するには

手順1 ～ 3を繰り返します。

ひとつの用件の一部分だけ消去するには

用件分割で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分の用件番号を選んで手順1 ～ 3の操作をします。

全用件を一度に消去する

1 停止中に表示／メニューボタンを長押ししてメニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 －⏮または⏭＋ボタンを押して、メニュー「全消去」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して決定する。

3 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「YES」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して決定する。

「ACCESS」が表示され、フォルダ内の全用件が消去されます。

ご注意

- メニューで「保護」設定されている用件は、消去されずに残ります。
- 「保護」設定されている用件を消去する場合は、メニューで「保護」設定を「OFF（解除）」してください。

途中で消去をやめるには

手順3で「NO」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して決定します。

用件をふたつに分ける — 用件分割

録音または再生中、用件分割をするとひとつの用件がふたつに分かれ、その場所に新しい用件番号がつきます。会議など1件の用件が長時間になったとき、用件分割をすると、再生したい場所がすばやく探せて便利です。用件数が99件になるまで用件分割できます。

ご注意

- 用件数がすでに99件の場合は用件分割はできません。
- 分割した用件は元に戻せません。
- 頻繁に用件分割をすると、分割ができなくなることがあります。
- アラーム設定した用件を分割すると、分割した後ろの用件にはアラーム設定は残りません。
- 用件のはじめから0.5秒までと終わりから0.5秒までの間では用件分割はできません。
- 録音中に頻繁に用件分割してから次の操作をしたとき、アクセスランプが点滅し、操作を受け付けるまでの時間が長くなることがありますが、故障ではありません。ランプが消えるまでお待ちください。
- 分割した後、分割した位置の音声がわずかに重複する場合があり、分割した前後の用件から同じ音声が聞こえることがあります。
- A-Bリピートや1件リピート中に分割操作を行うとリピート設定が解除されます。

録音または再生中に、用件を分割したいところで分割ボタンを押す。

- **録音中に押したときは**：
  押したところから新しい用件番号がつき、その番号と「ACCESS」が点滅します。ふたつの用件として録音されますが、途切れず続けて録音されます。

用件1	用件2	用件3

▲
用件分割

用件2と用件3は続けて録音される

ヒント
録音一時停止中でも用件分割できます。

- **再生中に押したときは**：
  押したところで「分割」と用件番号が点滅します。
  もう一度分割ボタンを押すと、押したところで用件が分割され、新しい用件番号と「ACCESS」が点滅します。
  以降の用件番号はひとつずつ送られます。

用件1	用件2		用件3
	⇩ ▲ 用件分割		
用件1	用件2	用件3	用件4

用件番号が1つずつ増える

ご注意
「分割」と用件番号が点滅中に■（停止）ボタンを押すか、何もせずにしばらくすると分割は中止されます。

用件分割した部分を探して聞くには

分割した用件を1件として用件番号がついているので、用件番号を探すときと同様に−|◀◀または▶▶|＋ボタンを押して再生する部分を探してください。

用件を保護する

保護設定をすることによって、選んだ用件を消去したり、分割することができなくなります。
保護設定をした用件を消去または分割しようとすると、「保護」と「🔒」が点滅します。

1 停止中に表示/メニューボタンを長押ししてメニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 －⏮または⏭＋ボタンを押して「保護」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して決定する。

「保護」が表示されます。

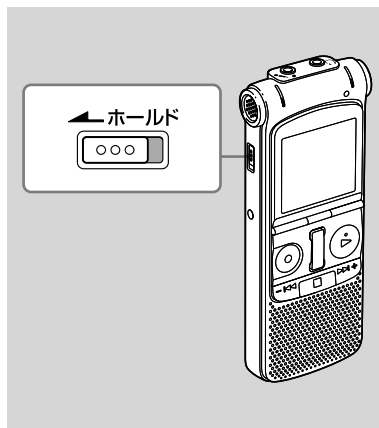
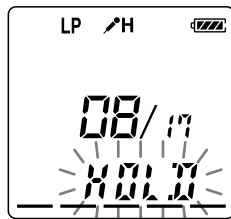
3 －⏮または⏭＋ボタンを押して「ON」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して決定する。

4 ■（停止）ボタンを押して通常画面に戻す。

メニューを終了すると「🔒」が表示されて選んだ用件が保護されます。

ヒント
メニューで「全消去」を「YES」にして、すべての用件を消去する場合でも、保護設定がある用件は消去されずに残ります。

ご注意
保護設定は 1用件ごとに設定できます。

誤操作を防止する — ホールド機能

誤動作を防止するには、録音、再生中にホールドスイッチを矢印の方向にずらします。
「HOLD」が3秒間表示され、すべてのボタンが操作できなくなります。

ホールドを解除するには

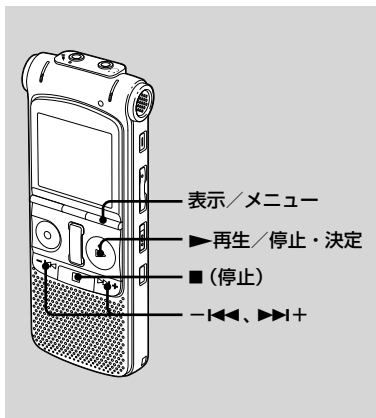
表示を出し、操作できるようにするには、ホールドスイッチを矢印と反対の方向にずらします。

ご注意

録音中にホールドにした場合、録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

ホールド中でもアラーム再生は止められます。

アラーム再生時、アラーム音や用件再生を止めるときには■（停止）ボタンは使えます。
（通常の用件再生は停止できません。）

メニューの使いかた

1 停止中に表示／メニューボタンを長押ししてメニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 −⏮または⏭＋ボタンを押して、設定したい項目を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して決定する。

3 −⏮または⏭＋ボタンを押して、設定し、►再生／停止・決定ボタンを押して決定する。

4 ■（停止）ボタンを押してメニューモードを終了する。

ご注意

- 再生中や録音中にもメニュー操作できますが、限られたメニュー項目のみ設定できます。
- 約1分間何もしないと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中に 表示／メニューボタンを押します。

メニュー一覧

メニュー	動作モード(○：設定可能／－：設定不可）→ 設定項目	停止中	再生中	録音中
録音モード	LP、SP、STLP、STSP、ST	○	－	－
マイク感度	H (会議)、L (口述)	○	－	○
VOR	ON、OFF	○	－	○
保護	ON、OFF	○	－	－
イージーサーチ	ON、OFF	○	○	－
時計設定	_ _年_ _月_ _日_ _:_ _	○	－	－
ビープ	ON、OFF	○	－	－
ランプ	ON、OFF	○	－	－
全消去	YES、NO	○	－	－
アラーム	ON、(DATE (日時)、SUN (日曜日)、MON (月曜日)、TUE (火曜日)、WED (水曜日)、THU (木曜日)、FRI (金曜日)、SAT (土曜日)、DAILY (毎日))、OFF	○	－	－

メニュー	設定項目（*:初期設定）
録音モード	**音質などを設定します。** ST*： ステレオ高音質録音。 STSP： ステレオ標準録音。 STLP： ステレオ長時間録音。 SP： モノラル標準録音。 LP： モノラル長時間録音。
マイク感度	**マイクの感度を設定します。** **H***： 広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。 **L**： 口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。
VOR	**VOR（ Voice Operated Recording）機能を設定します。** ON： ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音を一時停止します。● 録音／一時停止ボタンを押して、録音を始めるとVOR機能が働きます。 OFF*： VOR機能は働きません。
保護	**選んだ用件に保護設定をします。** ON： 保護設定にします。 OFF*： 保護設定はしません。
イージーサーチ	**イージーサーチを設定します。** ON： 再生中、▶▶I＋ボタンを押すと、約10秒進め、－I◀◀ ボタンを押すと、約3秒戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。 OFF*： イージーサーチ機能が働きません。－I◀◀または▶▶I＋ボタンを押すと、用件を送り／戻しします。
時計設定	「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせます（18ページ）。

メニュー	設定項目（*:初期設定）
ビープ	確認音を設定します。 ON*：　操作時の受け付け確認音およびエラーのビープ音が鳴ります。 OFF：　操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。 **ご注意** 「OFF」に設定していてもアラームは鳴ります。
ランプ	**録音、再生、アクセスランプの点灯、消灯を設定します。** ON*：動作中は録音、再生、アクセスランプが点灯または点滅します。 OFF：動作中も録音、再生、アクセスランプは点灯／点滅しません。
全消去	**フォルダの中身をすべて消去します（37ページ）。** YES：「ACCESS」が表示されて、すべての用件を消去します。 NO*：消去しません。 **ご注意** メニューの「保護」設定が「ON」になっている用件は消去しません。
アラーム	**アラーム再生を設定します（33ページ）。** ON：　アラームを設定します。「ON」を選んだ後で、再生を始める日時や、曜日または毎日再生をする場合の時刻を設定します。 OFF*：アラームを解除します。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のICレコーダー･カスタマーサポートページをご覧いただくか、ソニーの相談窓口(裏表紙)までお問い合わせください。
なお、保証書とアフターサービスについては、53ページをご参照願います。

こんなときは

症状	原因/処置
電源が切れない。	• 停止中にホールドスイッチを矢印の方向に動かす(21ページ)。
電源が入らない。	• ホールドスイッチが入っている(21ページ)。 → ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かす。
液晶表示が消えない。 表示が2重に見える。	• 保護シートが付いていませんか。 → フィルムを剥がしてお使いください。
操作ボタンを押しても動作しない。	• 電池の⊕と⊖の向きが正しくない(15ページ)。 • 電池が消耗している(16ページ)。 • ホールドスイッチが入っている(23、30ページ)。
スピーカーから音が出ない。	• 音量が絞られている(29ページ)。 • イヤーレシーバーをつないでいる(30ページ)。
片方のチャンネルからしか音が出ない。	• 本機につないでいる機器がモノラルの場合、片方のチャンネルにしか音が出ません。その場合は、モノラルからステレオに変換する変換プラグ(別売)をお使いください。
イヤーレシーバーをつないでいても、スピーカーから音が出る。	• 再生中にイヤーレシーバーを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんイヤーレシーバーを抜いて、最後までしっかり差し込む。
録音、再生またはアクセスランプが点灯しない。	• メニューの「ランプ」が「OFF」に設定されている(45ページ)。 →「ON」に切り換える。

症状	原因／処置
「FULL」と **REC** が点滅して、録音できない。	● メモリーがいっぱいになっている。 → 不要な用件を消去する（36ページ）。
「FULL」と用件番号（99）が点滅して、操作できない。	● 99件の用件が録音されているため、新たな録音や用件分割ができない。 → 不要な用件を消去する（36ページ）。
録音が途中で止まる。	● VORが作動している（25ページ）。VORを使用しないときは、メニューで「OFF」にする（44ページ）。
雑音が入る。	● 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 ● 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 ● 外部マイクで録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。 → プラグをきれいにクリーニングする。 ● イヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーのプラグが汚れている。 → プラグをきれいにクリーニングする。
録音レベルが小さい。	● マイク感度が「**L**（口述）」になっている。 → メニューで「**H**（会議）」に切り換える（44ページ）。
録音レベルが不安定。（音楽などを録音したとき）	● 本機は会議などの録音の際、自動的に録音レベルを調整するよう設計されているため、音楽などの録音には適していません。
他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	● 他の機器のヘッドホン端子を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	● DPC（速度調整）入／切スイッチが「入」になっているため、DPC速／遅ボタンで調整した再生スピードで再生されている（32ページ）。 → DPC（速度調整）入／切スイッチを「切」にすると、通常の速度で再生されます。または、DPC速／遅ボタンで再生スピードを調整してください。
DPC速または遅ボタンを押しても速度が変わらない。	● DPC（速度調整）入／切スイッチを「入」にしてください。
時計表示が「--:--」になる。	● 時計を合わせていない（18ページ）。

症状	原因／処置
録音日時表示が「_ _年_ _月_ _日」または「--:--」になる。	• 時計を合わせていない時に録音した用件には、録音した日付は表示されません。
時計がリセットされる。	• 電池をはずした状態で約2分以上たつと時計がリセットされます。電池を交換するときは、新しい電池を用意してから交換してください。
「SET DATE」が表示され、アラーム再生が設定できない。	• 時計を合わせていない場合は設定できません。
「PRE SET」が表示され、アラーム再生が設定できない。	• すでに他の用件でアラーム設定されているのと同じ時刻を設定しようとすると、設定できません。
「BACK-D」が表示され、アラーム再生が設定できない。	• 現在時刻より前にアラーム設定はできません。
用件分割ができない。	• 99件を超えると、用件分割はできません。 • 頻繁に用件分割をすると、用件分割ができなくなることがあります。 • 保護設定が「ON」になっていると用件分割できません。
メニュー表示の項目が足りない。	• 再生、または録音中は、表示されないメニューがあります(43ページ)。
電池の持続時間が短い。	• 17ページの乾電池の持続時間は、音量レベルを27で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。
電池を入れたまま長い期間使用しない後で、使おうとすると電池がなくなっている。	• 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。この場合の電池寿命は、温度などの環境によっても異なりますが、約2 ヶ月が目安です。長い間ご使用にならない場合は、電池を外しておくことをおすすめします。
変更したメニュー設定が反映されていない。	• 設定変更直後に電池が抜かれた場合、本機のメニュー設定が反映されないことがあります。
起動に時間がかかる。	• 用件数が多いと、起動するのに時間がかかることがありますが、故障ではありません。停止画面になるまでお待ちください。
正常に動作しない。	• 電池を取り出して、もう一度入れ直す。
消去できない。	• 保護設定されていると消去できません。 → 保護設定を解除してください。

修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

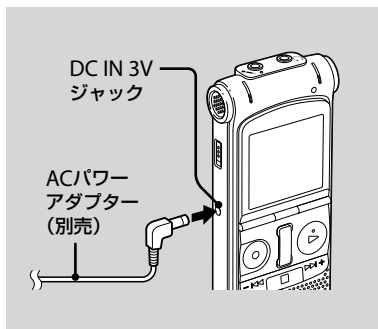
エラー表示一覧

エラー表示	原因
LO BATT	• 電池が消耗しています。新しい単4形乾電池と取り換えてください。
FULL（REC が同時に点滅）	• 録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかの用件を消去してからやり直してください。
FULL（用件番号が同時に点滅）	• 用件の合計が最大用件数（99件）を超えたため、新規の用件を作成できません。いくつかの用件を消去してからやり直してください。
SET DATE	• 時計合わせをしていないと、アラームは設定できません。
NO DATA	• 1件も用件が録音されていません。用件保護、消去とアラーム再生の設定などの操作ができません。
PRE SET	• すでにアラーム設定をした日時または時刻にアラームを設定しようとしています。日時または時刻などもう一度確認して、設定し直してください。
BACK-D	• 現在日時よりも前の日時でアラームを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください。
🔒（「保護」が同時に点滅）	• 選んだ用件が「保護」に設定されています。消去などができません。メニューで「保護」の設定を「OFF」にすると操作できるようになります。
DPC OFF	• DPC（速度調整）入／切スイッチが「切」になっています。DPC速／遅ボタンで速度を調整することはできません。
ERR ACCESS ERR 01 ～ 05	• 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池をはずし、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口（裏表紙）までご連絡ください。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
最大録音時間まで録音できない。	• STモード、STSPモード、STLPモード、SPモード、LPモードを混ぜて録音すると、最大録音時間はSTモードとLPモードの最大録音時間の間になります。 • 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。

家庭用電源につないで使う

長時間録音などをする場合は、家庭用電源（コンセント）で使うと、電池消耗の心配がなく便利です。

1 DC IN 3Vジャックに、別売のACパワーアダプター AC-E30Lをつなぐ。

2 ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ。

ご注意

- この製品には、別売のACパワーアダプターAC-E30L（極性統一型プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

極性統一型プラグ

- 録音中（録音ランプが赤に点灯・点滅中）やアクセス中（アクセスランプがオレンジに点滅中）はACパワーアダプターを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。なお、用件数が多いと、「ACCESS」表示が長時間表示される場合がありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。

使用上のご注意

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

ご使用場所について

- 運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - ほこりの多いところ。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(裏表紙)、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

容量（ユーザー使用可能領域）

1 GB（約989 MB＝1,037,565,952 Byte）
メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

最大録音時間*[1]

24ページ参照

*1 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは乾電池の持続時間（17ページ）をご確認ください。

周波数範囲

ST：75 ～ 20,000 Hz
STSP：75 ～ 17,000 Hz
STLP：75 ～ 7,500 Hz
SP：75 ～ 15,000 Hz
LP：75 ～ 3,500 Hz

各録音モードのMP3対応ビットレート、サンプリング周波数

ST：44.1 kHz、192 kbps stereo
STSP：44.1 kHz、128 kbps stereo
STLP：22.05 kHz、48 kbps stereo
SP：44.1 kHz、48 kbps mono
LP：11.025 kHz、8 kbps mono

スピーカー

直径 28mm

入・出力端子

外部入力（ステレオミニジャック）
　プラグインパワー対応
　最小入力レベル 0.5mV
ヘッドホン（ステレオミニジャック）
　負荷インピーダンス 、16～300Ω

再生スピード調整（DPC）

＋100%～－50%（MP3）

実用最大出力

300 mW

電源

DC1.5V、単4形アルカリ乾電池（付属）2本
DC1.2V、単4形充電式ニッケル水素電池
　（別売）2本

動作温度

5℃～ 35℃

最大外形寸法

約46.0×115.5×22.0 mm
　（幅／高さ／奥行き）（JEITA*[2]）

質量（JEITA**）

約85 g（単4形アルカリ乾電池2本含む）
　（JEITA*[2]）

*2 電子産業技術協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

付属品

9ページ参照

別売アクセサリー

ACパワーアダプター AC-E30L
アクティブスピーカー SRS-T88
エレクトレットコンデンサーマイクロホン
　ECM-CS10、ECM-DS70P、ECM-TL1
充電式ニッケル水素充電池単4形
　NH-AAA-4BF
ニッケル水素電池専用充電器 BCG-34HRES

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

数字、記号、アルファベット順

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。

商標について

- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには→ICレコーダー・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/ic-rec-support)
  ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- **電話・FAXでのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号)**
  - 本機の商品カテゴリーは[ICレコーダー]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆セット本体に関するご質問時：
    - 型名：ICD-AX70
    - シリアルナンバー：電池ボックス内
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。**http://www.sony.co.jp/support**

使い方 相談窓口	フリーダイヤル･････････････	0120-333-020
	携帯電話･PHS･一部のIP電話･	0466-31-2511
修理 相談窓口	フリーダイヤル･････････････	0120-222-330
	携帯電話･PHS･一部のIP電話･	0466-31-2531

※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）
0120-333-389
受付時間
月～金：
9:00～20:00
土・日・祝日：
9:00～17:00

ソニー株式会社　　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4113124O1 (1)